

様式1（専門職によるアドバイス支援事業 依頼書）

平成 30年 8月 27日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒326-0817

住所 栃木県足利市西宮町2833

事業者名 有限会社 小池経編染工所

担当者所属 開発部

担当者名 小池 隆

電話番号 0284-21-7341

電子メールアドレス koikezome@ceres.ocn.ne.jp

専門職によるアドバイス支援事業 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「専門職によるアドバイス支援事業」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

平成 30年8月27日

専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書

1. 希望する事業の種類 (いずれかに○印を記入してください。)

1. 介護現場と開発企業の意見交換の実施	○
2. 試作機器へのアドバイス支援	

2. 依頼者(企業)の概要

企業名	有限会社 小池経編染工所	
担当者名	小池 隆	
担当者連絡先	住所	〒326-0817 栃木県足利市西宮町2833
	電話	0284-21-7341
	電子メールアドレス	koikezome@ceres.ocn.ne.jp
主たる業種	繊維工業 ヘルスケア商品開発販売	
主要な製品	機能性生地 首枕(など寝具類) クッション	
希望する施設等の種類や職種等	特別養護老人ホーム	
その他		

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作機器等の概要 (可能な限り詳しく記入してください。)

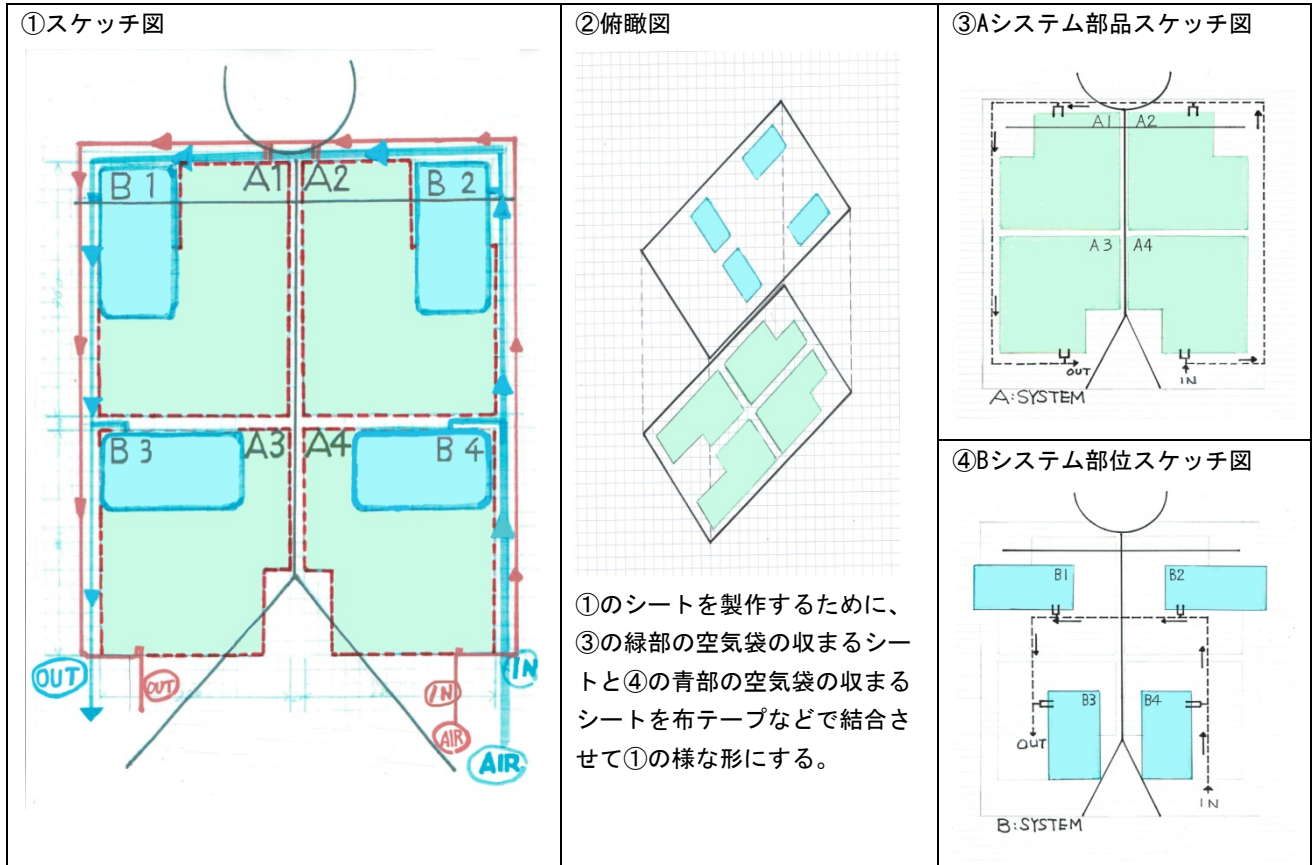
機器の名称(仮称)	体位変換・体圧減圧シート	
試作機器の有無及び機器のコンセプト(試作機器あれば写真を添付)	試作機器の有無	1. 有 ・ ②. 無
	機器の目的及び特徴 (図①参考) 在宅の場合、環境が異なるために施設用設備では使用が難しい。「薄い」、「軽い」そして「安価な」製品を投入して在宅介護の環境負荷を軽減する。 寝具の上に置くだけで使用できるようにする。 空気を利用して低反発ゾーンと高反発ゾーンを作りだし、低反発ゾーンを体圧減圧に使用し高反発ゾーンを体位変換に使用する。	
想定する使用者及び使用方法、使用場面	①想定する使用者 褥瘡リスクの高い、要介護度4～5の利用者 ②想定する使用方法 利用者の上半身に敷いて使用(注1) ③想定する使用場面(注2) 臥位で着床中	
現在の開発状況と主な課題	特許番号6245720号の考え方を基本に新商品を開発する。 部品の選定。原理の確認。 ロボット化へ向けて、生産側と使用者側の意識の乖離の有る無し。 自動制御システムの構築	

<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本器は在宅介護が中心(施設についても使用が可能)になる。 一番体圧が加わる箇所を減圧して体動を促すものであるが、日々の褥瘡予防取り組みの中で、この様な考え方についての意見は？ 施設での各部位別の褥瘡発症から見える比率はいかがか？ ・介助時の作業性の問題—全体的に減圧している従来型と本器の部分的減圧での介助時の底付き問題はいかがか？ ・使用生地の問題—褥瘡の局所的要因に“湿った皮膚“があげられる。介助者側からすれば、濡れを逃がさない防水加工の生地が好まれるが、利用者側にすると摩擦・ズレの問題になる。洗濯耐性の高い生地の利用性があるか？ ・ロボット化に対する要求度—現行機種種の操作盤の機能に過不足は無いか？ ・現場からの要望
<p>その他</p>	<p>(注1)上半身を手当てする簡便な機器なので、それ以外、頭部、踵骨部は当社の首枕の技術を用いて補助具で減圧する。全身のケアの要望があれば応じる。</p> <p>(注2)横むき、うつぶせ寝の利用者のための機器の開発案もある。</p> <p>仰向け寝を想定した機器のため、横向、うつ伏せの場合は本器を基に開発する。</p> <p>ハンモック現象を軽減する新素材—ニット生地による専用シーツの紹介もする。</p>

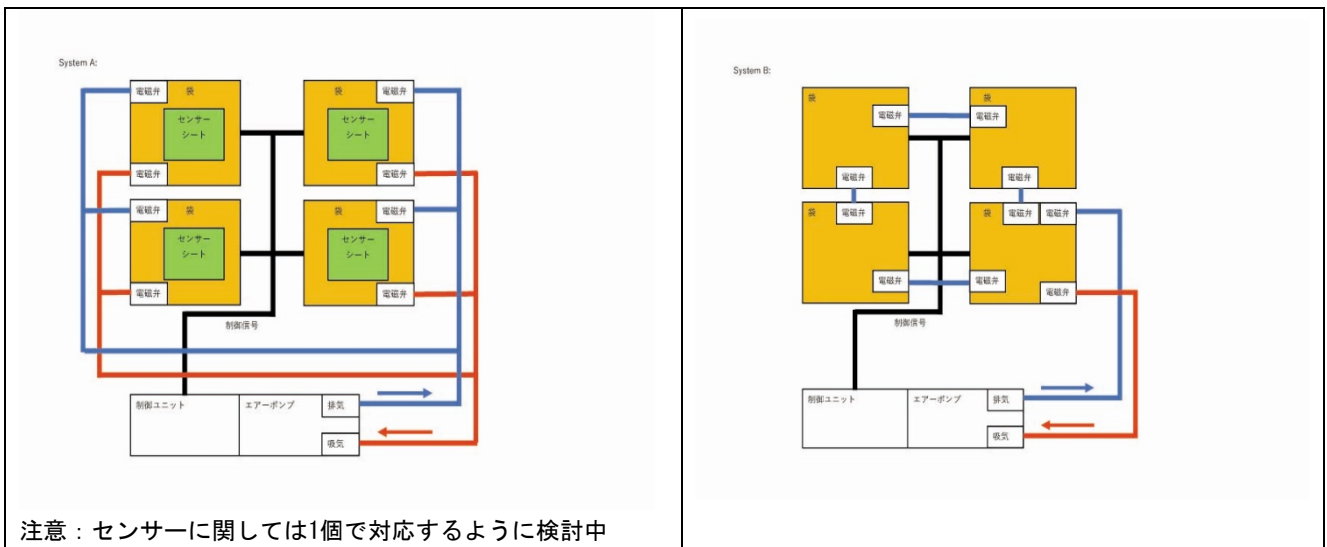
(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

【図1】

本体の設計



空気制御システムの設計



会 社 概 要



有 限 会 社

小 池 経 編 染 工 所

明治 37 年 創業する。

昭和 36 年 10 月 第 3 代取締役、小池秀雄が有限会社 小池経編染工所を設立する。

資本金 600 万円

所在地 〒 326-0817 栃木県足利市西宮町 2833

昭和 49 年 小池 隆が入社。

平成 12 年 代表取締役に就任。

平成 16 年 足利市よりの補助で第 2 創業に向けて新規生地の研究開発。

平成 17 年 栃木県地域産業創造技術研究開発費の補助で本格的に研究開始。

平成 18 年 中小繊維事業者自立支援事業の認定。

当社商品が「レッツ BUY とちぎ」商品に認定される。

平成 19 年 平成 19 年度とちぎデザイン大賞優良賞に「パジャマ」が選定される。

平成 20 年 栃木県サポートユアビジネス事業の補助で「首枕」の研究開発。

栃木県南地場産センター、足利市の補助でニット生地の開発。

栃木県ニューフロンティア事業所に認定される。

平成 21 年 経営革新計画承認企業となる。

栃木県サポートユアビジネス事業販売促進事業で「首枕」の販売事業。

平成 21 年度とちぎデザイン大賞優良賞に「首枕」が認定される。

第 4 2 回足利市勤労者表彰で発明・創意工夫等功績者表彰

平成 22 年 J A P A N E S E T E X T I L E S 2010(J E T R O , M I L A N O)

で海外展示会に初出展する。

中小企業ものづくり技術者育成支援事業認定。

当社「首枕」が「レッツ BUY とちぎ」商品に認定される。

足利市地域産業振興事業補助でシルク綿の研究開発。

平成 23 年 両毛シルクワールド研究会を結成し、会長に就任。

両毛シルクワールド研究会が J A P A N ブランド育成支援事業（戦略策定事業）に認定。

「繭わたコート」で栃木県ニューフロンティア事業所に認定される。

栃木県優良デザイン商品に「繭わたコート」が認定される。

平成 24 年 両毛シルクワールド研究会が J A P A N ブランド育成支援事業（1 年目）に認定。

「ストレッチ性を持たせたシルクの中綿」で栃木県ニューフロンティア事業所に認定される。

「首枕」の特許登録（特許第 5 1 6 1 2 7 0 号）

平成 25 年 両毛シルクワールド研究会が J A P A N ブランド育成支援事業（2 年目）に認定。

フランスでテクテラに入会 車椅子クッション事業再開

平成 24 年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助事業に採択される。

平成 26 年 両毛シルクワールド研究会が J A P A N ブランド育成支援事業（3 年目）に認定

持続化補助金制度に採択される

平成 27 年 ふるさと名物応援事業に採択される

新首枕、「プリプリ・マクラ」を発売（実用新案登録；第 319797）

「クッション」の国際特許を取得（PCT/JP2015/003883）

足利市「絹のみち」事業に採択される

平成 28 年 イタリア・ミラノの第 45 回 F I L O 展（3 月 2 ～ 3 日）に招聘される

関東経産局事業のシンガポール国交 50 周年事業「関東の逸品とアジア市場の新たな出い」

展示会に出展

足利市地域産業奨励事業に採択（片手で脱着できるパジャマの試作）される
新輸出大国コンソーシアムの会員登録を行なう

第49回足利市勤労者表彰で発明・創意工夫等功績者表彰

平成29年 小規模事業者続化補助金に採択される

「座・布団」で栃木県フロンティア事業所に認定される

公益財団法人テクノエイド協会に登録

テクノエイド協会の「専門職によるアドバイス支援事業」に採択される

テクノエイド協会で「座・布団」の JC-2 モデルが介護保険対象商品となる

第84回インターナショナルギフトショに出展

とちぎ健康フェスタ 2017 に出展

平成30年 第85回インターナショナルギフトショに中小機構枠で出展